

3 防水改修工事	<p>屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・M4C</td> <td>・C-1</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">※製造所の仕様</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・C-2</td> </tr> <tr> <td>・C-3</td> </tr> <tr> <td>・C-4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・M3D ・POD</td> <td>・D-1</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">・製造所の仕様</td> <td rowspan="4">※製造所の仕様</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・D-2</td> </tr> <tr> <td>・D-3</td> </tr> <tr> <td>・D-4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POD1 ・M3D1 ・M4D1</td> <td>・DI-1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※3.3.2(9)種類</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・DI-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示による</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)</p> <p>屋根防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PIE</td> <td>・E-1</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>・E-2</td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・設ける (※図示による) ・ ・設けない</p> <p>E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴室等常時水に接する部位</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>屋上排水溝 ※図示による</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4C	・C-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様			・C-2	・C-3	・C-4	・M3D ・POD	・D-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・D-2	・D-3	・D-4	・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・DI-2	改修工法	種別	施工箇所	・PIE	・E-1		・P2E	・E-2	<p>絶縁断熱工法の防湿用シート ・設置する ・設置しない</p> <p>6. 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>新設防水層の種類 <3.5.2~4><表3.5.1~3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・S-F1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POS ・S4S</td> <td rowspan="2">・S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S-F1</td> <td rowspan="2">・プレキャスト コンクリート下地</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S3S</td> <td rowspan="2">・S-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-M1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S-F1</td> <td rowspan="2">・プレキャスト コンクリート下地</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">3.5.2(3)(a)(b)種類</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-F2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td rowspan="2">・S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">3.5.2(3)(a)種類</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・S-M2</td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場の保護モルタル塗厚</th> <th>立上り部の保護モルタル塗厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・PIS</td> <td>・S-C1</td> <td></td> <td>※7mm以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類 目地割 ※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度</p> <p>目地の種類 ※押し目地</p> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による ・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ ()mm以上</p> <p>絶縁用シート ※発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質、形状及び寸法 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様</p> <p>設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ()個</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・行う (・図示による)</p> <p>プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合) ・行う (・図示による)</p> <p>・行わない</p> <p>7. 塗膜防水</p> <p>新設防水層の種類 <3.6.2、3></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・POX</td> <td rowspan="3">※X-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・X-2</td> </tr> <tr> <td>・X-1H ・X-2H</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・L4X</td> <td rowspan="3">・X-1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>※X-2</td> </tr> <tr> <td>・X-1H ・X-2H</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・S-F1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・S-F2	・POS ・S4S	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・S-M2	・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・S-F2	・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無	・S-M1	・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)(b)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・S-F2	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・S-M2	種別	種別	施工箇所	保護層		平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚	・PIS	・S-C1		※7mm以下		改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考	種類	使用量	・POX	※X-1		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・X-2	・X-1H ・X-2H	・L4X	・X-1		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無	※X-2	・X-1H ・X-2H	<p>8. シーリング</p> <p>新設防水層の種類 改修工法 新設種別 施工箇所 工程数及び各工程の使用量 保護層</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング改修工法の種類 <3.1.4><3.7.2、3、7、8></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドプレーカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類 (記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)による ・図示による</p> <p>接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>9. とい</p> <p>その他の材種 <3.8.2、3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレンドレン ・表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類) <p>10. アルミニウム製笠木</p> <p>多雪地域 ・適用する ・適用しない</p> <p>防露材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・図示による</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書表3.8.4による</p> <p>ルーフトレンドレンの種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用たて形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ・100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用横形I型</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・80 ・100 ・125 ・150</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td>※ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・バルコニー用</td> <td>・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> <tr> <td>※ねじ込み式</td> <td>・50 ・80 ・100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・差し込み式</td> <td>・50 ・75 ・100</td> </tr> </tbody> </table> <p>たてとい受金物の取付け ※図示による</p> <p>ルーフトレンドレンの取付け ※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</p> <p>種類 <3.9.2、3></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン形式 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式) <p>本体幅 ()mm 板厚 (※2.0mm) ()mm</p> <p>表面処理 種別 ()種 色合等 ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>既存笠木等の撤去 ・行う (範囲) ・図示による ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示による</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示による</p>	・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)			種別	呼び	施工箇所	・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150	・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100	・バルコニー用	・差し込み式	・50 ・75 ・100	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100		・差し込み式	・50 ・75 ・100	<p>11. 防水保証</p> <p>1. ひび割れ部改修工法</p> <p>4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁</p> <p>・樹脂注入工法 <4.1.4><4.3.5、6、7、8></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅 (mm)</th> <th rowspan="2">注入口間隔 (mm)</th> <th rowspan="2">注入量 (mL/m)</th> <th rowspan="2">延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅 (mm)</th> <th rowspan="2">延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0超過</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シーリング材</td> <td>1.0超過~1.5未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5以上~2.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>以上~未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅 (mm)</th> <th rowspan="2">延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td> <td>0.2未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 欠損部改修工法</p> <p>4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁</p> <p>・充填工法 <4.1.4><4.2.4、7></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料</th> <th rowspan="2">平均深さ (mm)</th> <th rowspan="2">平均広さ (㎡)</th> <th rowspan="2">延べ箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>10~15未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>15~20未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>20~25未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>25~30未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>30~35未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>35~40未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り個数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示による</p> <p>・Uカットシール材充填工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ幅 (mm)</th> <th rowspan="2">延べ長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.0超過</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・シーリング材</td> <td>1.0超過~1.5未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.5以上~2.0未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>以上~未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70			0.5以上~1.0未満	・150~250	・130		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満			0.3以上~0.5未満			0.5以上~1.0未満			1.0超過		・シーリング材	1.0超過~1.5未満			1.5以上~2.0未満			以上~未満		工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満		・可とう性エポキシ樹脂			材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満				10~15未満				15~20未満				20~25未満				25~30未満			・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満				35~40未満			工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)	・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満			0.3以上~0.5未満			0.5以上~1.0未満			1.0超過		・シーリング材	1.0超過~1.5未満			1.5以上~2.0未満			以上~未満		<p>5. 改質アスファルトシート防水</p> <p>屋根露出防水（既存） 新設防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td> <td>・AS-T1</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・AS-T2</td> </tr> <tr> <td>・AS-J2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS</td> <td>・AS-T3</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・POAS</td> <td>・AS-T3</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">・製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※製造所の仕様</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・AS-T4</td> </tr> <tr> <td>・AS-J1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td>・ASI-T1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※製造所の仕様</td> <td rowspan="2">3.4.2(3)種類</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無</td> </tr> <tr> <td>・ASI-J1</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による ・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料による区分 ※R種 厚さ ()mm以上</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考	種類	使用量	・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	※製造所の仕様			・AS-T2	・AS-J2	・M3AS	・AS-T3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・AS-T4	・AS-J1	・POAS	・AS-T3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無	・AS-T4	・AS-J1	・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無	・ASI-J1	<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p> <p>全業</p> <p>図面 No</p> <p>Scale</p> <p>特記仕様書 (2)</p>
	改修工法				新設種別	施工箇所			仕上塗料			断熱材						備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類		使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・M4C	・C-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・C-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・C-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・C-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・M3D ・POD	・D-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・D-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・D-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・D-4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・POD1 ・M3D1 ・M4D1	・DI-1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	※3.3.2(9)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・DI-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
改修工法	種別	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・PIE	・E-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・P2E	・E-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・S-F1			・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-F2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・POS ・S4S	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-M2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-F2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・S3S	・S-F2		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-M1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・S-F1	・プレキャスト コンクリート下地		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)(b)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-F2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S-M1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.5.2(3)(a)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							・S-M2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種別	種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・PIS	・S-C1		※7mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・POX	※X-1		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						・X-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
						・X-1H ・X-2H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・L4X	・X-1		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様	脱気装置 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
						※X-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
						・X-1H ・X-2H																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種別	呼び	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式	・80 ・100 ・125 ・150																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・バルコニー用	・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	※ねじ込み式	・50 ・80 ・100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	・差し込み式	・50 ・75 ・100																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
					※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	0.3以上~0.5未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	0.5以上~1.0未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1.0超過																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・シーリング材	1.0超過~1.5未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1.5以上~2.0未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	以上~未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
材料	平均深さ (mm)	平均広さ (㎡)	延べ箇所数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				・ポリマーセメントモルタル	5~10未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	10~15未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	15~20未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	20~25未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	25~30未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	35~40未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	延べ長さ (m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上~0.3未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	0.3以上~0.5未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	0.5以上~1.0未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1.0超過																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・シーリング材	1.0超過~1.5未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1.5以上~2.0未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	以上~未満																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		断熱材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
			種類	使用量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・M4AS	・AS-T1		・製造所の仕様	※製造所の仕様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・AS-T2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・AS-J2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・M3AS	・AS-T3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・AS-T4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・AS-J1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・POAS	・AS-T3		・製造所の仕様	※製造所の仕様		脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・AS-T4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・AS-J1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1		・製造所の仕様	※製造所の仕様	3.4.2(3)種類	脱気装置 ・有 ・無 改修用ドレン ・有 ・無 防湿層 ・有 ・無																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・ASI-J1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁	2. 欠損部改修 工法	・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分又は2成分ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>延べ長さ(m)</th> </tr> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2">0.2未満</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> </tr> </table> ・充填工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10~15未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15~20未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20~25未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25~30未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>30~35未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35~40未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・モルタル塗替え工法 <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td>・現場調査材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既調査材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調査材料 () 既製目地材 ・使用する(形状 図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)	・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満		・可とう性エポキシ樹脂	材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満			10~15未満			15~20未満			20~25未満			25~30未満			・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満			35~40未満			材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・現場調査材料				・既調査材料				2. ひび割れ部 改修工法	・樹脂注入工法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> <th>延べ長さ(m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> </table> 注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り箇所 ※長さ500mごと及びその端につき1箇所 抜き取り部の補修方法 ・図示による	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70			0.5以上~1.0未満	・150~250	・130		3. 欠損部改修 工法	・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 施工数量：平均広さ() m ² 延べ箇所数() 箇所 ・タイル張替え工法 張替え用材料 ・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・現場調査材料 ・既調査モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.4.2による ・図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・行う ・行わない 施工数量：平均広さ() m ² 延べ箇所数() 箇所 ・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)	5. 目地改修工法	・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	・複層仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材CE ・複層塗材FE ・複層塗材S ※複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ※アクリル系</td> <td rowspan="2">※耐候形 3種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系</td> </tr> </table> ・可とう形複層塗材CE <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE</td> <td>・平坦状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ・</td> <td rowspan="2">※耐候形 1種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>外観 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修塗材E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒 ・</td> <td rowspan="2">※耐候形 3種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系</td> </tr> </table> ・可とう形改修用仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE</td> <td>・平坦状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ・</td> <td rowspan="2">※耐候形 1種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>外観 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修塗材E</td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒 ・</td> <td rowspan="2">※耐候形 3種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系</td> </tr> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・複層塗材CE ・複層塗材FE ・複層塗材S ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※アクリル系	※耐候形 3種		・ゆず肌状	・ローラー塗り	外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE	・平坦状	・吹付け	樹脂 ・	※耐候形 1種		・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・	・可とう形改修塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ・	※耐候形 3種				外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE	・平坦状	・吹付け	樹脂 ・	※耐候形 1種		・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・	・可とう形改修塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ・	※耐候形 3種				外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系																			
		工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																														
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満																																																																																																																																																																	
・可とう性エポキシ樹脂																																																																																																																																																																		
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																																																																																																																																															
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満																																																																																																																																																																	
	10~15未満																																																																																																																																																																	
	15~20未満																																																																																																																																																																	
	20~25未満																																																																																																																																																																	
	25~30未満																																																																																																																																																																	
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																																																																																																																																	
	35~40未満																																																																																																																																																																	
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																																																																																																																																															
・現場調査材料																																																																																																																																																																		
・既調査材料																																																																																																																																																																		
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)																																																																																																																																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130																																																																																																																																																															
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40																																																																																																																																																															
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70																																																																																																																																																															
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130																																																																																																																																																															
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																													
・複層塗材CE ・複層塗材FE ・複層塗材S ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※アクリル系	※耐候形 3種																																																																																																																																																														
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系																																																																																																																																																															
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																													
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE	・平坦状	・吹付け	樹脂 ・	※耐候形 1種																																																																																																																																																														
	・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・																																																																																																																																																															
・可とう形改修塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ・	※耐候形 3種																																																																																																																																																														
			外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系																																																																																																																																																															
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																																																																																																													
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材FE ・可とう形改修塗材CE	・平坦状	・吹付け	樹脂 ・	※耐候形 1種																																																																																																																																																														
	・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ・																																																																																																																																																															
・可とう形改修塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ・	※耐候形 3種																																																																																																																																																														
			外観 ※つやあり ・メリック ・溶媒 ※水系																																																																																																																																																															
3. 浮き部改修 工法	4. 浮き部改修 工法	・アンカーピン本数 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>アンカーピン本数(本/m)</th> <th>注入箇所数(箇所/m)</th> <th>注入量(mL/箇所)</th> <th>延べ広さ(m²)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> </tr> <tr> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> <td>一般部指定部</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー <table border="1"> <tr> <th>広がり速度(cm/s)</th> <th>長さ変化量(収縮)(%)</th> <th>引張接着性(N/mm2)</th> <th>曲げ性能(N/mm2)</th> <th>吸水性(%)</th> <th>耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> 保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調査材料 () 既製目地材 ・使用する(形状 図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による	工法の種類	アンカーピン本数(本/m)	注入箇所数(箇所/m)	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(m ²)	・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	※25	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	※25	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	・充填工法	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(N/mm2)	曲げ性能(N/mm2)	吸水性(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系 ・伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系 シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	・目地ひび割れ部改修工法 ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示による シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による。	新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装塗材E</td> <td>・平坦状</td> <td>・こて塗り</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・防水形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> </table> ・厚付け仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材C</td> <td>・吹出し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・平坦状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・吹出し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・平坦状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし</td> <td></td> </tr> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・可とう形外装塗材S	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・可とう形外装塗材E	・平坦状	・こて塗り		・凹凸状	・ローラー塗り	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・防水形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・砂壁状	・吹付け	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	・外装厚塗材C	・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・適用する		・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・適用する		・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する		・ひき起こし	
		工法の種類	アンカーピン本数(本/m)	注入箇所数(箇所/m)	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(m ²)																																																																																																																																																												
・アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	※25																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・アンカーピンニング 全面ポリマーセメント スラリー注入工法	※13	※20	※12	※20																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	※25																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・注入口付アンカー ピンニング全面ポリマー セメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16																																																																																																																																																														
	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部	一般部指定部																																																																																																																																																														
・充填工法	—	—	—	—																																																																																																																																																														
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—																																																																																																																																																														
広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(N/mm2)	曲げ性能(N/mm2)	吸水性(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)																																																																																																																																																													
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																																																																																																																																													
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																																																																															
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・可とう形外装塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・可とう形外装塗材E	・平坦状	・こて塗り																																																																																																																																																																
	・凹凸状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
・防水形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																																																																																																																														
・外装厚塗材C	・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																															
	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																																																																
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																															
	・吹出し ・凸部処理	・吹付け																																																																																																																																																																
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する																																																																																																																																																															
	・ひき起こし																																																																																																																																																																	
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1. タイルの形状 寸法等	タイルの形状、寸法等 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状/寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分I類</th> <th>吸水率による区分II類</th> <th>吸水率による区分III類</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> <th>耐汚</th> <th>耐腐</th> <th>耐性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 見本焼き ・行う(施工箇所：) ・行わない 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない	施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分I類	吸水率による区分II類	吸水率による区分III類	役物	色	耐凍害性	耐滑	耐汚	耐腐	耐性													・アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度 ・タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 施工数量：平均広さ() m ² 延べ箇所数() 箇所	1. 既存塗膜等の除去 下地処理及び下地調整 <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> <td rowspan="2">・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離剤工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示による</td> <td></td> </tr> </table> 2. 下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル 3. 仕上塗材仕上げ 新規仕上塗材の種類 ・薄付け仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・可とう形外装塗材E</td> <td>・平坦状</td> <td>・こて塗り</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・凹凸状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・防水形外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装薄塗材S</td> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・砂壁状</td> <td>・吹付け</td> </tr> </table> ・厚付け仕上塗材 <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗り</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材C</td> <td>・吹出し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・平坦状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・ひき起こし ・かき落とし</td> <td>・吹付け</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・吹出し ・凸部処理</td> <td>・吹付け</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・外装厚塗材S ・外装厚塗材E</td> <td>・平坦状 ・凹凸状</td> <td>・こて塗り ・ローラー塗り</td> <td rowspan="2">・適用する</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・ひき起こし</td> <td></td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法	・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による		・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示による		種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料	・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・可とう形外装塗材S	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・可とう形外装塗材E	・平坦状	・こて塗り		・凹凸状	・ローラー塗り	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・防水形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け		・ゆず肌状	・ローラー塗り	・さざ波状		・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け		・砂壁状	・吹付け	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料	・外装厚塗材C	・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・適用する		・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・適用する		・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する		・ひき起こし																																													
施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分I類	吸水率による区分II類	吸水率による区分III類	役物	色	耐凍害性	耐滑	耐汚	耐腐	耐性																																																																																																																																																							
工法	処理範囲	下地面の補修																																																																																																																																																																
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法																																																																																																																																																																
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による																																																																																																																																																																	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による																																																																																																																																																																	
・水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・図示による																																																																																																																																																																	
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	防火材料																																																																																																																																																															
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・可とう形外装塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・可とう形外装塗材E	・平坦状	・こて塗り																																																																																																																																																																
	・凹凸状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
・防水形外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・ゆず肌状	・ローラー塗り																																																																																																																																																																
	・さざ波状																																																																																																																																																																	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
	・砂壁状	・吹付け																																																																																																																																																																
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料																																																																																																																																																														
・外装厚塗材C	・吹出し ・凸部処理	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																															
	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り																																																																																																																																																																
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け	・適用する																																																																																																																																																															
	・吹出し ・凸部処理	・吹付け																																																																																																																																																																
・外装厚塗材S ・外装厚塗材E	・平坦状 ・凹凸状	・こて塗り ・ローラー塗り	・適用する																																																																																																																																																															
	・ひき起こし																																																																																																																																																																	
				4. マスチック 塗材塗り	種別 ・A種 ・B種 仕上げの形状 ・ ・ 仕上塗料の耐候性 ・ ・ 下地拳動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修)による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。 吹付け工法の模様材の種類 ・(・所要量 (kg/m ²)) 外壁用仕上塗料の種類 ・(・所要量 (kg/m ²)) 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(塗仕上げ外壁等改修)による。	5. 外壁用塗膜 防水材塗り	5. 1. 改修工法 <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・木製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </table> 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示による 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による	・木製建具	・	・	・建具表による	2. 防火戸 ・指定する 適用箇所(・建具表による) ・指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・連動させる 適用箇所(・建具表による) ・連動させない	3. 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う(建具符号：) ・行わない() 建具見本製作の目的等：() 特殊な建具の仮組 ・行う(建具符号：) ・行わない()	4. 防犯建物部品 ・適用する(・建具表による) ※適用しない																																																																																																																									
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																															
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																															
・樹脂製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																															
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																																																																																																																																																															
	・内部	・	・建具表による																																																																																																																																																															
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																															
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																															
・木製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																																															
					宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課	設計年月日 調査者氏名 設計者氏名 工事名称 図面名称 Scale 特記仕様書(3)	全業 図面 No																																																																																																																																																											

5 建具 改修 工事	5. アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 気密性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 水密性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 : 建具表による) ・B種 (建具符号 : 建具表による) ・C種 (建具符号 : 建具表による) 枠の見込み寸法 (建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ※BB-1 ・ BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ※BC-1 ・ BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ・排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2~5><表 5.2.2>	9. 鋼製軽量建具	材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.4.2による mm 使用箇所 () 標準型鋼製建具の形式及び寸法 ※建具表による 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 : 建具表による) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による	<5.2.2><5.5.2~4>	12. 建具用金物	・特殊加工 化粧合板 化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 接着の程度 (・1類 ・2類) ・MDF 表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5.7.6による 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・適用しない ・適用する ・かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 ※36mm ・建具表による ・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による ・戸ぶすま 表面板の仕上 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠、くつずりの材料 ・建具表による 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.2による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.3による ・建具表による 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.4による ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.5による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による	<5.8.1~3>	15. 自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 開閉繰返し () 耐衝撃性 () シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	<5.10.3>	16. 重量シャッター	閉鎖方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5.11.2、3>	17. 軽量シャッター	閉鎖方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	<5.12.2~4>	18. オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能区分 ・50 ・75 ・100 ・125 開閉方式による区分 ※バランスタイプ ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ※建具表による)	<5.13.2、3>	19. ガラス	・フロント板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2~4> ※建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による ・落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による ・破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ※建具表による ・性能による種類 ・1種 ・2種
	6. 網戸等	種類 ・防虫網 ・防鳥網 材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ステンレス(SUS304)線材 線径 ※0.25mm以上 1.5mm 網目 ※16~18メッシュ 網目寸法15mm	<5.2.3、5.3.3>	7. 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性の等級 () 気密性の等級 () 水密性の等級 () 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号 : 建具表による) ・B種 (建具符号 : 建具表による) ・C種 (建具符号 : 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号 : 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8) (建具符号 : 建具表による) 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 枠の見込み寸法 ・建具表による 材料 ガラス ※複層ガラス ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面色 ・標準色 ・特注色 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	<5.2.2><5.3.2~5>	10. ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 : 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	<5.2.2><5.4.2><5.6.2~5>	13. 鍵	マスターキー ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室名札付き) ・ 鍵箱 ・無し ・有り	<5.8.4>	14. 自動ドア開閉装置	戸の開閉方式 ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.3による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による ・タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	<5.9.2、3>	11. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・ 建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2)(4)(a)による 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)	<5.7.2~4>	8. 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具符号 : 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 () (建具符号 : 建具表による) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 () (建具符号 : 建具表による)	<5.2.2><5.4.2~4><表5.4.2>		
		宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 (8 班) FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No														
							図面名称	Scale															
						特記仕様書(4)																	

5 建具 改修工事	<p>・複層ガラス 材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による</p> <p>断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S</p> <p>乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス 材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種</p> <p>耐久性による区分(日射熱遮へい性が2種の場合) ・A類 ・B類</p> <p>・倍強度ガラス 材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p>	6 内装 改修工事	1. 改修範囲 <6.1.3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による	7. 造作用単板 積層材 <6.5.2>	<p>・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 0701 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下 ・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下 ・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・JAS 3079 に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理					・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理				※14%以下 ・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない				※14%以下 ・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)								12. 内部間仕切軸 組及び床組み <6.5.6>	13. 窓、出入口 その他 <6.5.7>	14. 軽量鉄骨天井 下地 <6.6.2~4>	<p>・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※薬剤の製造所の仕様による</td> <td>※JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着材への混入による防蟻、防蟻処理 適用部位 ()</p> <p>・合板等の加圧注入処理の適用 適用部位 ()</p>	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																								
			施工箇所		品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																						
				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																																																																										
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																										
			※14%以下 ・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																																																																										
			※14%以下 ・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない																																																																																																																																										
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																								
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																												
	※薬剤の製造所の仕様による	※JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																												
20. ガラス ブロック積み	<p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・グレイジングチャンネル</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・グレイジングガスケット</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> </table> <p><5.14.5></p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色(・白 ・グレー) シーリングの種類 (・SR-1 ・PS-1)</p> <p>金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示による</p> <p>形状 ※図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による</p> <p>・図示による</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による	鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					3. 既存壁の撤去 及び下地補修 <6.3.2>	4. 施工一般 <6.5.2>	5. 製材 <6.5.2>	8. 合板等 <6.5.2>	15. 軽量鉄骨壁 下地 <6.7.3、4>	16. ビニル床 シート <6.8.2、3>	17. ビニル床 タイル <6.8.2>	18. 特殊機能床材 <6.8.2>																																																																																																				
		建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																										
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																												
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																												
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																												
樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																												
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																									
・160×160	・95																																																																																																																																													
・200×200	・95																																																																																																																																													
2. 既存床の撤去 及び下地補修 <6.2.2>	<p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(9)(b)による</p> <p>・JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・ A種 ・ B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・JAS 1083 (製材) 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・ B種</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 <6.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」による化粧り造作用集材材 <6.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td>※1等 ・ 2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・ 2等</td> <td>※1等 ・ 2等</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> </table> <p>・「集材材の日本農林規格」以外の化粧り造作用集材材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下 ・</td> <td>※15%以下 ・</td> </tr> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※2級	※A種 ・ B種				※2級	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種		見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種				※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種		施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率			() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種			() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質						※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等	施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質			化粧薄板: 芯材:			※1等 ・ 2等	※1等 ・ 2等			化粧薄板: 芯材:			※1等 ・ 2等	※1等 ・ 2等	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下 ・					※15%以下 ・	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	※15%以下 ・		化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	※15%以下 ・	9. 接合具等 <6.5.3>	10. 接着剤 <6.5.3、4>	11. 防蟻・防蟻 処理 <6.5.5>	<p>造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</p> <p>諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3~5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) ・ (形状: 寸法: 材質:)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ <6.5.3、4></p> <p>・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 <6.5.5></p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> <td></td> </tr> </table>	適用部材	保存処理性能区分	・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																										
		※2級	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
		※2級	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																										
見え掛り面		※上小節	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・ B種																																																																																																																																											
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																										
		※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
		※1等	※10%以下 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																											
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																										
		() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種																																																																																																																																										
		() ・ 造作材の場合 (※A種 ・ B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・ B種																																																																																																																																										
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																																																																									
					※1等 ・ 2等 ※1等 ・ 2等																																																																																																																																									
施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																																																																								
		化粧薄板: 芯材:			※1等 ・ 2等	※1等 ・ 2等																																																																																																																																								
		化粧薄板: 芯材:			※1等 ・ 2等	※1等 ・ 2等																																																																																																																																								
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																										
				※15%以下 ・																																																																																																																																										
				※15%以下 ・																																																																																																																																										
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																								
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	※15%以下 ・																																																																																																																																								
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	※15%以下 ・																																																																																																																																								
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																													
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																														
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																														
・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																														
21. ガラス用 フィルム	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム</td> <td>・SG-1 ・SG-2</td> <td>内貼り用外貼り用</td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GI-1 ・GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GD-1 ・GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p>	種類	記号	その他性能等	・日射調整フィルム	・SG-1 ・SG-2	内貼り用外貼り用	・低放射フィルム	・LE		・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1 ・GI-2		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF		6. 造作用集材材 <6.5.2>	9. 接合具等 <6.5.3>	10. 接着剤 <6.5.3、4>	11. 防蟻・防蟻 処理 <6.5.5>	<p>種別の記号</p> <table border="1"> <tr> <th>種別の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>※無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p> <p>種別の記号</p> <table border="1"> <tr> <th>種別の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT (コボ'ジヤク'ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>※300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート <6.8.2></p> <p>種類 () 性能 () 厚さ (mm) ()</p> <p>帯電防止床タイル</p> <p>種類 () 性能 () 寸法 (mm) () × () 厚さ (mm) ()</p> <p>・視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。</p> <p>種類 () 形状 ()</p> <p>・耐動荷重性床シート</p> <p>種類 () 厚さ (mm) ()</p>	種別の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0			種別の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コボ'ジヤク'ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・		・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・		・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・																																																																															
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																												
・日射調整フィルム	・SG-1 ・SG-2	内貼り用外貼り用																																																																																																																																												
・低放射フィルム	・LE																																																																																																																																													
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1 ・GI-2																																																																																																																																													
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1																																																																																																																																													
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																													
種別の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																										
※FS (複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																												
種別の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																										
※KT (コボ'ジヤク'ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																																																																																																																											
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・																																																																																																																																											
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																																																																																																																											
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・																																																																																																																																											
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・																																																																																																																																											
宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																																																																																							
					図面名称	Scale																																																																																																																																								
							特記仕様書 (5)																																																																																																																																							

7 塗装 改修工事	5. 塗装	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(CL)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>A-1種 B-1種 C-1種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ステイン塗り</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> </table>		塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種	・耐候性塗料塗り(DP)	コンクリート面及び押出成形セメント板面		A-1種 B-1種 C-1種	コンクリート面等	※B種	※B種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種	コンクリート面等	※B種	※B種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	コンクリート面等	※B種	※B種	コンクリート面等	※B種	※B種	・ステイン塗り	コンクリート面等	※B種	※B種	コンクリート面等	※B種	※B種	・木材保護塗料塗り(WP)	コンクリート面等	※B種	※B種	コンクリート面等	※B種	※B種	<p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、珪砂面、せっこうフタ面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め</p> <p>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシテとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め</p> <p>※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシテとする</p> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用</p> <p>・適用しない</p> <p>・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用</p> <p>・適用する</p> <p>・適用しない</p> <p>オイルステイン塗りの工程等</p>	<p>7. 暑中コンクリート</p> <p>8. マスコンクリート</p> <p>9. 無筋コンクリート</p> <p>10. 流動化コンクリート</p> <p>11. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>12. 構造体コンクリートの仕上げ</p>	<p>構造体強度補正值 ※6N/mm²</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>・標準仕様書6.13.2(2)(7)による</p> <p>・混和材の種類</p> <p>・混和材の種類</p> <p>※標準仕様書6.13.2(2)(4)による</p> <p>スラブ</p> <p>※15cm</p> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.1による</p> <p>コンクリートの種類</p> <p>・普通コンクリート</p> <p>設計基準強度</p> <p>※18N/mm²</p> <p>スラブ</p> <p>※15cm又は18cm</p> <p>セメントの種類</p> <p>・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>・高炉セメントB種</p> <p>・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>・標準仕様書9.7.3(1)(7)による</p> <p>・図示による()</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</p> <p>・図示による()</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <p>種類</p> <p>適用箇所</p> <p>・A種</p> <p>・B種</p> <p>・C種</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(柱・梁・壁)</p> <p>種類</p> <p>適用箇所</p> <p>・a種</p> <p>化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り</p> <p>・b種</p> <p>仕上げ塗料</p> <p>・c種</p> <p>セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り</p> <p>・d種</p> <p>銅線下地</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(床)</p> <p>種類</p> <p>適用箇所</p> <p>・a種</p> <p>合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式)</p> <p>・b種</p> <p>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り</p> <p>・c種</p> <p>タイル張り、モルタル塗り、二重床</p> <p>打増し厚さ(打放し仕上げ)</p> <p>・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)</p> <p>・20mm</p> <p>・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)</p> <p>・10mm</p> <p>・20mm</p> <p>型枠</p> <p>せき板の材料及び厚さ</p> <p>・合板(※12mm)</p> <p>・断熱材を兼用した型枠材</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>・MCR工法用シート</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>・打増し厚さ</p> <p>・20mm</p> <p>・打増し範囲</p> <p>・図示による()</p> <p>・スリーブの材種・規格等</p> <p>・図示による()</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p>			
		塗装の種類	塗装面			工程																																																																								
塗替え	新規																																																																													
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種	木部屋外	※B種	※A種																																																																											
	木部屋内	※B種	※B種																																																																											
・クリヤラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																											
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																											
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	鉄鋼面	※B種	※B種																																																																											
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種																																																																											
・耐候性塗料塗り(DP)	コンクリート面及び押出成形セメント板面		A-1種 B-1種 C-1種																																																																											
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	※A種																																																																											
	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種																																																																											
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき面	※A種	※A種																																																																											
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
・ステイン塗り	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
・木材保護塗料塗り(WP)	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
	コンクリート面等	※B種	※B種																																																																											
8 耐震改修工事 共通事項	<p>1. 適用範囲</p> <p>・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事</p> <p>・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分</p> <p>工事内容</p> <p>・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</p> <p>・鉄骨ブレースの設置工事</p> <p>・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)</p> <p>・連続繊維補強工事</p> <p>・耐震スリット新設工事</p> <p>・免震改修工事</p> <p>・制振改修工事</p> <p>・土工事及び地業工事</p> <p>・</p> <p>2. 既存部分の処理等</p> <p>・<8.21.2、3><8.22.2、3><8.23.2、3><8.24.4><8.25.2><8.28.2></p> <p>既存構造体の撤去</p> <p>撤去範囲</p> <p>・図示による()</p> <p>はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置</p> <p>・図示による()</p> <p>既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度</p> <p>・既存柱、梁面</p> <p>・打継ぎ面等の15~30%程度に、平均深さ 2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。</p> <p>・既存壁</p> <p>・打継ぎ面の10~15%程度に、平均深さ 2~5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。</p> <p>既存杭の撤去等</p> <p>撤去範囲及び撤去方法</p> <p>・図示による()</p>	<p>1. 鉄筋</p> <p>鉄筋の種類等 <8.2.1></p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※SD295</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 溶接金網</p> <p>鉄線の形状等 <8.2.2></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3. 鉄筋の継手</p> <p>鉄筋の継手の方法等 <8.3.4><8.4.2、3></p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>※ガス圧接 ・溶接継手 ・機械式継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋()</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 鉄筋の定着</p> <p>鉄筋の定着長さ <8.3.4></p> <p>・図示による</p> <p>機械式定着工法</p> <p>・適用する</p> <p>適用箇所</p> <p>・図示による()</p> <p>種類</p> <p>・摩擦圧接接合</p> <p>・螺合グラウト固定</p> <p>・嵌合グラウト固定</p> <p>工法</p> <p>※第三者機関の評定等を取得している工法とする</p> <p>必要定着長さ</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>補強筋形状</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>かぶり厚さ</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>品質確認</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>検査</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>5. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)</p> <p>最小かぶり厚さ <8.3.5></p> <p>・図示による</p> <p>軽量コンクリートを適用する場合</p> <p>・あり 適用箇所()</p> <p>・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</p> <p>耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)</p> <p>・あり 適用箇所()</p> <p>・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</p> <p>6. 圧接完了後の試験</p> <p>超音波探傷試験 <8.3.8></p> <p>※行う(全圧接部)</p> <p>7. 機械式継手</p> <p>適用箇所 <8.4.2></p> <p>※図示による()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <p>・A級</p> <p>種類</p> <p>・ねじ式鉄筋継手</p> <p>充填方式</p> <p>・無機グラウト方式</p> <p>・有機グラウト方式</p> <p>・端部ねじ加工継手</p> <p>・モルタル充填式継手</p> <p>・</p> <p>工法</p> <p>※第三者機関の評定等を取得している工法とする</p> <p>鉄筋相互のあき</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>品質の確認</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>検査</p> <p>※評定等の評価内容による</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>・外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※全数</p> <p>試験項目</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>試験方法</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>・超音波測定試験</p> <p>試験対象</p> <p>・抜き</p> <p>ロット</p> <p>・1組の作業班が1日に行った継手箇所、最大200箇所程度にする。</p> <p>試験の箇所数</p> <p>1ロットに対して()箇所</p> <p>・全数</p>	種類の記号	呼び径(mm)	備考	※SD295			※SD345			・			・			種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				部位	継手方法	呼び径(mm)	柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・溶接継手 ・機械式継手		耐力壁の鉄筋	・重ね継手		その他の鉄筋()	・重ね継手		<p>8. 溶接継手</p> <p>適用箇所 <8.4.3></p> <p>・図示による()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能</p> <p>・A級</p> <p>溶接継手の工法</p> <p>・図示による()</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>・外観試験</p> <p>試験対象</p> <p>※全数</p> <p>試験項目</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>試験方法</p> <p>・評定等の評価内容による</p> <p>・超音波探傷試験</p> <p>試験対象</p> <p>・抜き</p> <p>ロット</p> <p>・1組の作業班が1日に行った溶接箇所、最大200箇所程度にする。</p> <p>試験の箇所数</p> <p>1ロットに対して()箇所</p> <p>・全数</p> <p>9. 割製補強筋</p> <p>形状 <8.21.6><8.22.7></p> <p>・スパイラル筋</p> <p>種類</p> <p>・SR235またはSWM-P</p> <p>呼び径、曲げ直径、ピッチ</p> <p>・図示による</p> <p>・</p> <p>1. コンクリートの種類</p> <p>コンクリートの種類 <8.1.3></p> <p>※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)</p> <p>・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>2. コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>スラブ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>・</td> <td>・2.3程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>・軽量コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(N/mm²)</th> <th>スラブ(cm)</th> <th>気乾単位容積質量(t/m³)</th> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※21</td> <td>・</td> <td>・1種</td> <td>・2種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>3. セメント</p> <p>種類 <8.2.5></p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352 J/g以下、かつ28日目402 J/g以下のものとする)</p> <p>適用箇所()</p> <p>・高炉セメントB種</p> <p>適用箇所()</p> <p>・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所()</p> <p>4. 骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 <8.2.5></p> <p>※A</p> <p>・B</p> <p>5. 混和材料</p> <p>・混和剤</p> <p>・混和剤の種類</p> <p>※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による</p> <p>・混和材</p> <p>・混和材の種類</p> <p>※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による</p> <p>6. 構造体用モルタル</p> <p>構造体用モルタル <8.2.6></p> <p>圧縮強度()</p> <p>フロー値()</p>	設計基準強度(N/mm ²)	スラブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m ³)	適用箇所	・24	・	・2.3程度		・	・	・		・	・	・		設計基準強度(N/mm ²)	スラブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m ³)	種類	適用箇所	・	※21	・	・1種	・2種	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
種類の記号	呼び径(mm)	備考																																																																												
※SD295																																																																														
※SD345																																																																														
・																																																																														
・																																																																														
種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																																																																											
・溶接金網																																																																														
・鉄筋格子																																																																														
部位	継手方法	呼び径(mm)																																																																												
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・溶接継手 ・機械式継手																																																																													
耐力壁の鉄筋	・重ね継手																																																																													
その他の鉄筋()	・重ね継手																																																																													
設計基準強度(N/mm ²)	スラブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m ³)	適用箇所																																																																											
・24	・	・2.3程度																																																																												
・	・	・																																																																												
・	・	・																																																																												
設計基準強度(N/mm ²)	スラブ(cm)	気乾単位容積質量(t/m ³)	種類	適用箇所																																																																										
・	※21	・	・1種	・2種																																																																										
・	・	・	・	・																																																																										
・	・	・	・	・																																																																										

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電話 022-211-326 ()
FAX 022-211-3190
宮城県土木部営繕課

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工事名称

図面名称

特記仕様書(7)

全業

図面 No

Scale

<p>16. コンクリートの打込み工法等</p> <p>コンクリートの打設工法の種類 <8.21.8><8.23.5~7></p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等 柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ・図示による() 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む ・ 既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・図示による() 補強後の仕上げ ・図示による()</p>	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()	・	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・	<p>7. アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)</p> <p>・構造用アンカーボルト種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所 ・図示による() 種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による()</p> <p>8. 溶接材料 <8.2.10> 溶接材料 ・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による</p> <p>9. スタッド 種類等 <8.2.11></p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10. 製作精度 <8.13.3> 鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p> <p>11. 仮組 <8.13.10> 仮組を行う範囲 ・図示による()</p> <p>12. 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験 <8.15.3> 試験の要領 ・図示による()</p> <p>13. 溶接接合 <8.15.4><8.15.7> 開先の形状 ・図示による() ・鋼製エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ・図示による() 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による ・ スカラップの形状 ・図示による()</p> <p>14. 入熱、パス間温度の溶接条件 <8.15.7><8.15.10> 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による() 適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>15. 溶接部の試験 <8.15.12> 平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数</p> <p>16. 錆止め塗装 <7.3.3><8.17.2,4> 塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による() 塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</p>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>17. 耐火被覆 <8.18.2>~<8.18.8></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td>・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>18. アンカーボルト等の設置等 (7.10.3) 構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ 種別 ※A種 ・B種 ・図示による()</p> <p>19. 鉄骨ブレース設置後の仕上げ <8.22.9> ・図示による()</p> <p>8-4 1. あと施工アンカー <8.2.4> 材料等 ・金属系アンカー ・引張耐力 kN ・図示による() ・せん断耐力 kN ・図示による() アンカー本体の径及び埋込み長さ ・図示による() セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による() ※接着系アンカー ・引張耐力 kN ・図示による() ・せん断耐力 kN ・図示による() アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式 接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ・図示による() アンカー筋の種類 アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ・図示による() ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ・図示による()</p> <p>2. 穿孔 <8.12.4> 埋込み配管等の探索方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)より探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。 ・はつり出しによる</p> <p>3. 施工確認試験 <8.12.7> 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ・図示による(耐火補強共通図)</p> <p>4. あと施工アンカー穿孔工法 <8.12.1> ※改修標準仕様書8.12.1(2)による。 ・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。</p>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール			・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール			・ラス張りモルタル塗り				・耐火塗料				<p>8-5 グラウト工事</p> <p>1. 柱底均しモルタル及びグラウト材 <8.2.12></p> <p>・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。</p> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法</p> <table border="1"> <tr> <td>コンシステンシー</td> <td>Jロートによる流下時間 線混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒</td> </tr> <tr> <td>フリージング</td> <td>練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下</td> </tr> <tr> <td>凝結時間</td> <td>凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内</td> </tr> <tr> <td>無収縮性</td> <td>材齢 7日 収縮しない</td> </tr> <tr> <td>圧縮強度</td> <td>材齢 3日 20.0 N/mm²以上 材齢 28日 40.0 N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>0.30kg/m²以下</td> </tr> </table> <p>試験方法 1)NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p> <p>8-6 連続繊維補強工事</p> <p>1. 連続繊維シート <8.2.13><8.24.6></p> <p>連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ 引張強度(含浸硬化後) ・() N/mm² ヤング係数(含浸硬化後) ・() N/mm² ・下地処理 ・ひび割れ部改修範囲 ・図示による() ・工法の種類 ・ ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・図示による()</p> <p>連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による ・試験数量 ・図示による() ・ ・付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による ・試験数量 ・図示による()</p> <p>2. 仕上げ <8.24.7> 補強工事後の仕上げ ・図示による()</p> <p>8-7 耐震スリット新設工事</p> <p>1. 耐震スリットの方式、幅及び深さ <8.25.2> 方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による()</p> <p>2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探索 <8.12.4> 既存撤去部の埋込み配管等の探索方法 ・鉄筋探知器(金属探知器)により探索し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・はつりだしによる</p> <p>3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 <8.25.2> ・耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() ・遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修</p>	コンシステンシー	Jロートによる流下時間 線混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒	フリージング	練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下	凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内	無収縮性	材齢 7日 収縮しない	圧縮強度	材齢 3日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm ² 以上	塩化物量	0.30kg/m ² 以下	<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p> <p>全業</p> <p>図面 No</p> <p>Scale</p> <p>特記仕様書(8)</p>
補強工法	打設工法	部位																																																														
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()																																																														
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																														
・	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・																																																														
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																														
・16																																																																
・19																																																																
・22																																																																
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																													
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール																																																															
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																															
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール																																																															
・ラス張りモルタル塗り																																																																
・耐火塗料																																																																
コンシステンシー	Jロートによる流下時間 線混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒																																																															
フリージング	練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下																																																															
凝結時間	凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内																																																															
無収縮性	材齢 7日 収縮しない																																																															
圧縮強度	材齢 3日 20.0 N/mm ² 以上 材齢 28日 40.0 N/mm ² 以上																																																															
塩化物量	0.30kg/m ² 以下																																																															
<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課</p>		<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名</p> <p>工事名称</p> <p>図面名称</p>	<p>全業</p> <p>図面 No</p>	<p>Scale</p> <p>特記仕様書(8)</p>																																																												

8-8 土工事及び地業工事	1. 埋戻し及び盛土	材料及び工法 ・材料() 工法() ※改修標準仕様書表8.28.11による ・A種 適用場所() ・B種 適用場所() ・C種 適用場所() 土質() 受渡場所() ・D種 適用場所() (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)	9 環境配慮改修工事	1. 石綿含有建材の除去工事	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。 調査範囲() 貸与資料() ・石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点	<ul style="list-style-type: none"> 石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 養生方法 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 	5. 屋上緑化改修工事	補載基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による かん水装置 ・設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯損償の期間 ※引渡しの日から1年																																																																																																																															
	2. 杭地業	支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む) ・図示による() 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ・図示による() ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ・図示による() ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・図示による() ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・図示による() 溶接部の確認 ・図示による() ・杭頭の処理 ・処理しない ・処理する 処理方法(切断にともなう補強方法含む) ・図示による() ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・評定等の評価内容による 建て込み時の杭の鉛直度 ・1/100以内 ・評定等の評価内容による 記録する施工状況等 ・図示による()		<table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・測定1 ・測定2 ・測定3 ・測定4</td> <td rowspan="4">処理作業前</td> <td rowspan="4"></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定5</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td rowspan="2"></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計 点</td> </tr> <tr> <td>処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定7 ・測定8 ・測定9</td> <td rowspan="2">処理作業後(シート養生中)</td> <td rowspan="2">処理作業室内</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定4 ・測定5</td> <td rowspan="2">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> <td rowspan="2"></td> <td>測定名称</td> <td>測定方法</td> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定4 ・測定5</td> <td rowspan="2">JIS K 3850-1に基づいた測定</td> <td rowspan="2"></td> <td>測定名称</td> <td>メンブレンフィルタ 直径(mm)</td> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>試料の吸引時間 (min)</td> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定 ・測定</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・測定 ・測定</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	適用			測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)	・測定1 ・測定2 ・測定3 ・測定4	処理作業前		処理作業室内	・計 点	調査対象室外部の付近	・計 点	処理作業室内	・計 点	セキュリティゾーン入口	・計 点	・測定5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計 点	処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点	・測定7 ・測定8 ・測定9	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	処理作業室内	・計 点	処理作業室内	・計 点	・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		測定名称	測定方法	・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定4 ・測定5	JIS K 3850-1に基づいた測定		測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定4 ・測定5	25	5	30	・測定 ・測定			・測定	47	10	120	・測定	47	10	240	・測定 ・測定			・測定				・測定				<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事</td> <td></td> <td>鋼材による</td> </tr> <tr> <td>笠木</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修特記仕様書第3章</td> <td></td> <td>アルミニウム製笠木による</td> </tr> <tr> <td>既存外壁の処置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存外壁仕上材の撤去</td> <td></td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>下地面の清掃</td> <td></td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>欠損部の改修工法</td> <td></td> <td>・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</td> </tr> <tr> <td>不陸等の下地調整</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の施工</td> <td></td> <td>・断熱材製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>外装材の施工</td> <td></td> <td>・外装材製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>通気層の有無</td> <td></td> <td>・有(mm) ・無</td> </tr> <tr> <td>外装材の外壁への取付け</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>笠木の施工</td> <td></td> <td>・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</td> </tr> <tr> <td>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</td> <td></td> <td>※F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</td> <td></td> <td>※F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>工法</td> <td></td> <td>・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考	鋼材			改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事		鋼材による	笠木			改修特記仕様書第3章		アルミニウム製笠木による	既存外壁の処置			既存外壁仕上材の撤去		・行う ・行わない	下地面の清掃		・行う ・行わない	欠損部の改修工法		・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による	不陸等の下地調整			断熱材の施工		・断熱材製造所の仕様による	外装材の施工		・外装材製造所の仕様による	通気層の有無		・有(mm) ・無	外装材の外壁への取付け		・図示による	笠木の施工		・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆	開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆	工法		・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所			・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による	
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)																																																																																																																																			
・測定1 ・測定2 ・測定3 ・測定4	処理作業前		処理作業室内	・計 点																																																																																																																																			
			調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																																																			
			処理作業室内	・計 点																																																																																																																																			
			セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																																																																			
・測定5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計 点																																																																																																																																			
			処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点																																																																																																																																			
・測定7 ・測定8 ・測定9	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	処理作業室内	・計 点																																																																																																																																			
			処理作業室内	・計 点																																																																																																																																			
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定		測定名称	測定方法																																																																																																																																			
			・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																			
・測定4 ・測定5	JIS K 3850-1に基づいた測定		測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																	
			・測定4 ・測定5	25	5	30																																																																																																																																	
・測定 ・測定			・測定	47	10	120																																																																																																																																	
			・測定	47	10	240																																																																																																																																	
・測定 ・測定			・測定																																																																																																																																				
			・測定																																																																																																																																				
種類	防火性能	備考																																																																																																																																					
鋼材																																																																																																																																							
改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事		鋼材による																																																																																																																																					
笠木																																																																																																																																							
改修特記仕様書第3章		アルミニウム製笠木による																																																																																																																																					
既存外壁の処置																																																																																																																																							
既存外壁仕上材の撤去		・行う ・行わない																																																																																																																																					
下地面の清掃		・行う ・行わない																																																																																																																																					
欠損部の改修工法		・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による																																																																																																																																					
不陸等の下地調整																																																																																																																																							
断熱材の施工		・断熱材製造所の仕様による																																																																																																																																					
外装材の施工		・外装材製造所の仕様による																																																																																																																																					
通気層の有無		・有(mm) ・無																																																																																																																																					
外装材の外壁への取付け		・図示による																																																																																																																																					
笠木の施工		・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による																																																																																																																																					
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆																																																																																																																																					
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆																																																																																																																																					
工法		・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所																																																																																																																																					
		・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による																																																																																																																																					
		・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法																																																																																																																																					
3. 砂利地業	材料 ※再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ 厚さ 適用箇所 ※60mm ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下	<table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>JIS K 3850-1に基づいた測定</td> </tr> <tr> <td>測定名称</td> <td>メンブレンフィルタ 直径(mm)</td> <td>試料の吸引流量 (L/min)</td> <td>試料の吸引時間 (min)</td> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定 ・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定 ・測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・測定 ・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・測定 ・測定</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	測定名称	測定方法	・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	・測定4 ・測定5	JIS K 3850-1に基づいた測定	測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	・測定4 ・測定5	25	5	30	・測定 ・測定	47	10	120	・測定 ・測定	47	10	240	・測定 ・測定				・測定 ・測定				<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事</td> <td></td> <td>鋼材による</td> </tr> <tr> <td>笠木</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>改修特記仕様書第3章</td> <td></td> <td>アルミニウム製笠木による</td> </tr> <tr> <td>既存外壁の処置</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存外壁仕上材の撤去</td> <td></td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>下地面の清掃</td> <td></td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>欠損部の改修工法</td> <td></td> <td>・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</td> </tr> <tr> <td>不陸等の下地調整</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱材の施工</td> <td></td> <td>・断熱材製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>外装材の施工</td> <td></td> <td>・外装材製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>通気層の有無</td> <td></td> <td>・有(mm) ・無</td> </tr> <tr> <td>外装材の外壁への取付け</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>笠木の施工</td> <td></td> <td>・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</td> </tr> <tr> <td>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</td> <td></td> <td>※F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</td> <td></td> <td>※F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>工法</td> <td></td> <td>・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考	鋼材			改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事		鋼材による	笠木			改修特記仕様書第3章		アルミニウム製笠木による	既存外壁の処置			既存外壁仕上材の撤去		・行う ・行わない	下地面の清掃		・行う ・行わない	欠損部の改修工法		・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による	不陸等の下地調整			断熱材の施工		・断熱材製造所の仕様による	外装材の施工		・外装材製造所の仕様による	通気層の有無		・有(mm) ・無	外装材の外壁への取付け		・図示による	笠木の施工		・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆	開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆	工法		・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所			・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による			・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・切込み砂利 ・砂</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>※砂</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	・図示による	・凍上抑制層	・切込み砂利 ・砂	・図示による	・フィルター層	※砂	・図示による	<p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行う ※行わない 路床安定処理 <ul style="list-style-type: none"> ・適用する ・適用しない 安定処理の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定処理用添加材料種類 <ul style="list-style-type: none"> ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 <ul style="list-style-type: none"> kg/m³ (目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 <ul style="list-style-type: none"> ・安定処理土のCBR試験 ・ジオテキスタイル <ul style="list-style-type: none"> 単位面積質量 ・60g/m²以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10⁻¹ cm/sec以上 <p>試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 路床土の支持力比(CBR)試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ※行わない 路床締固め度の試験 <ul style="list-style-type: none"> ※行う ・行わない 現場CBR試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ・行わない <p>路盤</p> <ul style="list-style-type: none"> 路盤の厚さ <ul style="list-style-type: none"> ・図示による 路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3による種別) <ul style="list-style-type: none"> ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・再生粒度調整砕石 ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ※図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 <ul style="list-style-type: none"> ・行う ※行わない 舗装の平たん性 <ul style="list-style-type: none"> ※著しい不陸がないもの 																												
測定名称	測定方法																																																																																																																																						
・測定4 ・測定5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																						
・測定4 ・測定5	JIS K 3850-1に基づいた測定																																																																																																																																						
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																				
・測定4 ・測定5	25	5	30																																																																																																																																				
・測定 ・測定	47	10	120																																																																																																																																				
・測定 ・測定	47	10	240																																																																																																																																				
・測定 ・測定																																																																																																																																							
・測定 ・測定																																																																																																																																							
種類	防火性能	備考																																																																																																																																					
鋼材																																																																																																																																							
改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事		鋼材による																																																																																																																																					
笠木																																																																																																																																							
改修特記仕様書第3章		アルミニウム製笠木による																																																																																																																																					
既存外壁の処置																																																																																																																																							
既存外壁仕上材の撤去		・行う ・行わない																																																																																																																																					
下地面の清掃		・行う ・行わない																																																																																																																																					
欠損部の改修工法		・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による																																																																																																																																					
不陸等の下地調整																																																																																																																																							
断熱材の施工		・断熱材製造所の仕様による																																																																																																																																					
外装材の施工		・外装材製造所の仕様による																																																																																																																																					
通気層の有無		・有(mm) ・無																																																																																																																																					
外装材の外壁への取付け		・図示による																																																																																																																																					
笠木の施工		・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による																																																																																																																																					
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆																																																																																																																																					
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量		※F☆☆☆☆																																																																																																																																					
工法		・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所																																																																																																																																					
		・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種1H ・A種1H 吹付け厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示による																																																																																																																																					
		・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法																																																																																																																																					
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																					
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	・図示による																																																																																																																																					
・凍上抑制層	・切込み砂利 ・砂	・図示による																																																																																																																																					
・フィルター層	※砂	・図示による																																																																																																																																					
4. 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ 厚さ 適用箇所 ※50mm ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下	<p>石綿含有建材の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 石綿含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ※改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有吹き付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有保温材等(石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化 ・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種)の除去 除去対象範囲 ・図示による 隔離養生(負圧不要)方法 ・図示による 足場 ・図示による 除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 石綿含有成形板(石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外)の除去 除去対象範囲 ・図示による 除去した石綿含有成形板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 	<p>4. 断熱・防露改修工事</p> <p>9.3.2~4)</p>	<p>9.4.2~4)</p> <p>9.5.2~5、9)</p>																																																																																																																																			
<p>宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号 電話 022-211-326 () FAX 022-211-3190 宮城県土木部営繕課</p>					設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No																																																																																																																													
<p>図面名称 Scale</p> <p>特記仕様書(9)</p>																																																																																																																																							

10 ユニット及びその他の工事	1. フリーアクセスフロア (20.2.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000N ・5,000N</td> <td>・帯電防止床材 ・タイル・ベアット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による ・以下による ・パネルの長さの寸法精度 ・パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ・フリーアクセスフロアの高さの寸法精度</p> <p>帯電防止性能 ・評価値 (U) ≥0.6以上 ・評価値 (U) ≥1.2以上</p> <p>感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶Ω</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイル・ベアット	6. 階段滑り止め (20.2.7)	<p>材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</p> <p>形状 ※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型</p> <p>寸法 (幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p>	15. カーテンレール (20.2.16)	<p>材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>材種 ・集成材 (仕上げ:) ※アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ:)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・額縁タイプ ※目地タイプ</td> <td>・額縁タイプ ※目地タイプ</td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ	27. 屋内掲示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製 ・ 表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・</p>																						
	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																															
	・置敷式 ・支柱調整式	・	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイル・ベアット																																															
	材種	寸法	形式	外枠	内枠																																																	
	※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般形 ・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ																																																	
	2. 可動間仕切 (20.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>・スチール ・パネ</td> <td>・アクリル樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・有り (※図示による) ・無し</p> <p>パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スチール ・パネ	・アクリル樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	7. 黒板及びホワイトボード (20.2.9)	<p>・黒板区分 ※焼き付け 種類 ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	16. ブラインドボックス及びカーテンボックス	<p>材種 ・集成材 (仕上げ:) ※アルミニウム製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.1による種別 ※BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ:)</p>	28. 洗面カウンター	<p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600</p>																																				
	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																	
	・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	・スチール ・パネ	・アクリル樹脂焼付又は アクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																	
	3. 移動間仕切 (20.2.4)	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材質</th> <th>仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・フック式 ・バンド式</td> <td>・</td> <td>・鋼板 ・</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り ・</td> <td>・36未満 ※36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する 図示による パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質	仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フック式 ・バンド式	・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上	8. 鏡 (20.2.10)	<p>取付け箇所 () 寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ※5</p>	17. 天井点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ・鋼製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>※一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> </tr> </table> <p>密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。</p>	材種	寸法	形式	備考	※アルミニウム製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	29. 防煙垂れ壁	<p>固定式</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>可動式</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り				
	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材質	仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)																																															
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・フック式 ・バンド式	・	・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上																																																
材種	寸法	形式	備考																																																			
※アルミニウム製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用																																																			
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																			
※網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																			
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																			
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																			
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																																																			
4. トイレブース (20.2.5)	<table border="1"> <tr> <th>表面材の材料</th> <th>脚部種類</th> <th>ドアエッジ材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※幅木タイプ</td> <td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table>	表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製	9. 表示 (20.2.11)	<p>衝突防止表示 ・設置する (設置場所: ※図示による) 形状・寸法 (・30φ) 材質 (※ステンレス製) ・設置しない 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) ※図示による</p>	18. 床点検口	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>※450×450 ・600×600</td> <td>※一般形 ・密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> </tr> </table>	材種	寸法	形式	備考	※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	30. 屋外掲示板	<p>照明器具 ・有り ・無し 施錠 ・有り ・無し 製造所 ・</p>																																	
表面材の材料	脚部種類	ドアエッジ材質																																																				
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																				
材種	寸法	形式	備考																																																			
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	※450×450 ・600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用																																																			
5. 手すり (20.2.6)	<p>材料の種類及び仕上げ (20.2.6)</p> <p>・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材種:) ・ビニル製</td> <td>・クリアラッカー ・</td> <td>・35程度 ・45程度 ・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・35程度 ・45程度 ・</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種:) ・ビニル製	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・					・35程度 ・45程度 ・			10. タラップ (20.2.12)	<p>材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種) 種)</p>	19. くつふきマット	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・ ・ ・</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	備考	・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	・ ・ ・	市販品 ステンレス製 ・1段式	31. 収納家具	<p>合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放出量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による</p>													
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																		
・集成材 (材種:) ・ビニル製	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・																																																				
		・35程度 ・45程度 ・																																																				
材種	寸法 (mm)	備考																																																				
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																			
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																			
・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500 ・700	市販品																																																			
・水切り	・1200 ・900 ・600	・ ・ ・	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																			
			11. ロールスクリーン (20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ホック・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7&#226;ニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7&#226;ニウム合金製 ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・7&#226;ニウム合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ホック・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7âニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7âニウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7âニウム合金製	・図示による	20. 洗台ユニット	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・流し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450 ・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>・ ・ ・</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)	備考	・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	・ ・ ・	市販品 ステンレス製 ・1段式	11. 一般事項	<p>総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。</p> <p>測定対象化学物質は、厚さ労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。</p> <p>測定対象化学物質は、①から④の9物質及びTVOCとする。</p> <p>測定方法</p> <ol style="list-style-type: none"> クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。 トルエン換算で2.0μg/m³未満のピークは測定の対象としない。 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。 						
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ホック・レールの材質	幅・高さ																																																
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7âニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7âニウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7âニウム合金製	・図示による																																																
材種	寸法 (mm)	備考																																																				
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																			
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																			
・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500 ・700	市販品																																																			
・水切り	・1200 ・900 ・600	・ ・ ・	市販品 ステンレス製 ・1段式																																																			
			12. ブラインド (20.2.14)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ホック・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7&#226;ニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7&#226;ニウム合金製 ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・7&#226;ニウム合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ホック・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7âニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7âニウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7âニウム合金製	・図示による	21. 旗竿	<table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※テーパー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>※ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。														
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ホック・レールの材質	幅・高さ																																																
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7âニウム合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7âニウム合金製 ・クロススラット	・80 ・100	・7âニウム合金製	・図示による																																																
材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																																																	
※アルミニウム合金製	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																		
			13. ロールスクリーン (20.2.15)	<table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>※製造所の仕様</td> <td>・図示による</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの</p>	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・	22. 旗竿受金物	<p>材種 ・ステンレス製 (SUS 304)</p>	11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																																					
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等																																																		
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・																																																		
			14. カーテン (20.2.16)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付け箇所</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>生地の仕様 消防法で定める防炎性能の表示があるもの 暗幕用カーテンの両端、上部及び引合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所	・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ		・図示による	23. 車止めさく	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式</td> <td>・標準品 ・ステンレス製</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table>	形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製	・	・	11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																													
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	取付け箇所																																																		
・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・アレンひだ		・図示による																																																		
形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																			
・上下式鎖内蔵式 ・スプリング式	・標準品 ・ステンレス製	・	・																																																			
				<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	24. フェンス	<p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ・図示による</p>	11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																																									
種類	規格等	JISによる種類																																																				
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																				
				<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>・ ・</td> <td>・A ・B</td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目張り ・図示による 伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による</p>	種類	種類	質量区分	備考	・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・ ・	・A ・B	25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)	11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。																																								
種類	種類	質量区分	備考																																																			
・間知石 ・コンクリート ・間知ブロック	・花こう岩 ・凝灰岩	・ ・	・A ・B																																																			
				<table border="1"> <tr> <th>化学物質名</th> <th>室内濃度 (μg/m³)</th> <th>室内濃度 (ppm)</th> </tr> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100</td> <td>0.08</td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260</td> <td>0.07</td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3,900</td> <td>0.88</td> </tr> <tr> <td>⑤スチレン</td> <td>220</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>⑦テトラデカン</td> <td>330</td> <td>0.04</td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48</td> <td>0.03</td> </tr> <tr> <td>⑨ノナール</td> <td>(暫定)41</td> <td>0.007</td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17</td> <td>0.0015</td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100</td> <td>0.0063</td> </tr> <tr> <td>⑫クロロピリノス</td> <td>1</td> <td>0.0007</td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29</td> <td>0.0002</td> </tr> <tr> <td>⑭フェノブカルブ</td> <td>33</td> <td>0.0038</td> </tr> <tr> <td>⑮総採択有機化合物 (TVOC)</td> <td>400</td> <td>(暫定目標値)</td> </tr> </table>	化学物質名	室内濃度 (μg/m ³)	室内濃度 (ppm)	①ホルムアルデヒド	100	0.08	②トルエン	260	0.07	③キシレン	200	0.05	④エチルベンゼン	3,900	0.88	⑤スチレン	220	0.05	⑥パラジクロロベンゼン	240	0.04	⑦テトラデカン	330	0.04	⑧アセトアルデヒド	48	0.03	⑨ノナール	(暫定)41	0.007	⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17	0.0015	⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	0.0063	⑫クロロピリノス	1	0.0007	⑬ダイアジノン	0.29	0.0002	⑭フェノブカルブ	33	0.0038	⑮総採択有機化合物 (TVOC)	400	(暫定目標値)	26. 鋼製書架及び物品棚	11. 総採択および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚労省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。
化学物質名	室内濃度 (μg/m ³)	室内濃度 (ppm)																																																				
①ホルムアルデヒド	100	0.08																																																				
②トルエン	260	0.07																																																				
③キシレン	200	0.05																																																				
④エチルベンゼン	3,900	0.88																																																				
⑤スチレン	220	0.05																																																				
⑥パラジクロロベンゼン	240	0.04																																																				
⑦テトラデカン	330	0.04																																																				
⑧アセトアルデヒド	48	0.03																																																				
⑨ノナール	(暫定)41	0.007																																																				
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17	0.0015																																																				
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	0.0063																																																				
⑫クロロピリノス	1	0.0007																																																				
⑬ダイアジノン	0.29	0.0002																																																				
⑭フェノブカルブ	33	0.0038																																																				
⑮総採択有機化合物 (TVOC)	400	(暫定目標値)																																																				
				<p>測定する室</p> <ol style="list-style-type: none"> 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・室名: 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・室名: ・屋外(周囲の建物から離れた場所1か所) 	27. 測定結果等報告書の提出	<p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し 																																																
				<p>その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>	28. 測定結果等報告書の提出	<p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試料採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。) 試料採取時の状況 (気温・湿度(屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試料採取までの日数) 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器 TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し 																																																

宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
電話 022-211-326 (班)
FAX 022-211-3190

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

工事名称

図面名称

全業

図面 No

特記仕様書 (10)

Scale